

整理番号	HT26180	分野	地学・化学	(キーワード) 古気候
------	---------	----	-------	-------------

## 京都大学

### 石から探る☆むかしの天気 ～身近な岩石から過去の環境変化を読み解こう～

先生(代表者)	渡邊 裕美子(わたなべ ゆみこ) 大学院理学研究科・助教				
自己紹介	専門は地球化学。2001年、東京理科大学理学部卒業。2006年、東京大学大学院理学系研究科修了。博士(理学)。研究テーマ: 鍾乳石や樹木年輪の中の化学組成を分析して、古環境を復元する研究をしています。 <a href="http://www.kueps.kyoto-u.ac.jp/~web-tecto/">http://www.kueps.kyoto-u.ac.jp/~web-tecto/</a>				
開催日時・ 主な募集対象	平成26年8月25日(月)	(対象)	中学生 高校生	(人数)	10名
集合場所・時間	京都大学 吉田キャンパス 理学部1号館			(集合時間)	10:00
開催会場 (集合場所)	京都大学 吉田キャンパス(北部構内) 理学部1号館 住所: 〒606-8502 京都市左京区北白川追分町 アクセスマップ: <a href="http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/access/campus/map6r_n.htm">http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/access/campus/map6r_n.htm</a>				
内 容					
<p>近未来の気候変動を予測するために、過去の気候変動を把握しておくことはとても重要です。過去の気候変動は、地質学的サンプル(樹木・堆積物コア・氷床コア・サンゴ・鍾乳石など)の詳細な分析・解析に基づいて知ることができます。今回の実習では、沖縄県で採取されたサンゴを題材として、その中の化学組成を計測することで、サンゴが生息していた時の環境情報(海水温)を抽出します。どのようにして過去の地球環境を復元していくのか?、実際に体験してみましよう。</p> <p><b>【講義】</b> プログラムの最初に、講義「石から探る☆むかしの天気 ～古気候学～」を行い、実験・実習の流れをつかむとともに、古気候学について学ぶ。</p> <p><b>【実験・実習】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 沖縄県で採取されたサンゴを酸分解し、その化学組成をイオンクロマトグラフで測定する。</li> <li>2. サンゴの化学組成から海水温を推定する。</li> </ol>					
スケジュール					持 ち 物
9:45-10:00	受付 (理学部1号館 玄関 集合)				筆記用具
10:00-10:15	ガイダンス (挨拶・オリエンテーション・科研費の説明)				
10:15-10:45	講義「石から探る☆むかしの天気～古気候学～」(講師: 渡邊裕美子)				
10:45-11:00	休憩				
11:00-12:30	実習1 「炭酸塩(サンゴ)の中の化学組成を分析してみよう」				
12:30-13:30	昼食 (講師・大学院生らとの懇談を含む)				

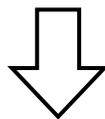
13:30-14:00	キャンパス&ラボツアー	
14:00-15:30	実習2「炭酸塩(サンゴ)の化学組成から、海水温を推定してみよう」	特記事項
15:30-16:00	休憩と懇談「ケーキとお茶、大学院生の研究生活の紹介」	
16:00-16:30	アンケート・未来博士号授与式	
16:30	終了・解散	

《お問い合わせ・お申し込み先》

所属・氏名：	京都大学大学院理学研究科地球惑星科学専攻 渡邊 裕美子 (わたなべ ゆみこ)
住所：	〒606-8502 京都府京都市左京区北白川追分町
TEL 番号：	075-753-4150
FAX 番号：	075-753-4189
E-mail：	yumiko@kueps.kyoto-u.ac.jp
申込締切日：	平成 26 年 8 月 15 日(金)

《プログラムのテーマと関係する科研費》

研究代表者	研究期間	研究種目	課題番号	研究課題名
渡邊裕美子	H21-22	若手研究B	20509939	鍾乳石を用いた熱帯陸域の古気候変動研究



★この科研費について、さらに詳しく知りたい方は、下記をクリック！

<http://kaken.nii.ac.jp/>

※国立情報学研究所の科研費データベースへリンクします。